



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 3316 URL <http://www.tcs-net.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今泉 真一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)赤木 正人 TEL (03)5466-5530  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,036	11.1	107	△8.8	108	△9.8	73	△19.1
23年3月期第2四半期	3,633	25.6	117	—	119	—	90	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 76百万円(△16.3%) 23年3月期第2四半期 91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5,796 97	—
23年3月期第2四半期	7,168 16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,032	1,590	52.5
23年3月期	3,889	1,546	39.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,590百万円 23年3月期 1,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	2,500 00	2,500 00
24年3月期	—	0 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,500 00	2,500 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,780	△1.3	215	△15.4	215	△16.6	123	△19.0	9,761 90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,600株	23年3月期	12,600株
24年3月期2Q	—株	23年3月期	—株
24年3月期2Q	12,600株	23年3月期2Q	12,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3.	四半期連結財務諸表 .....	4
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
	(5) セグメント情報等 .....	9
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響から復興に向かう兆しが見られるものの、欧州諸国の金融不安や円高の継続により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属するIT業界におきましては、ITベンダー間の激しい競争によるIT商品の低価格化が進む中、顧客のIT機器に対する災害対策によるIT投資需要が増加しているものの、対策後の投資案件が不透明なことから予断を許さない状況で推移してまいりました。また、人材派遣業界におきましては、雇用状況の悪化を反映し、派遣契約の継続契約の取りやめ等により、企業環境は依然厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは「情報化ライフサイクルサポーター」として、技術の優位性、業務の卓越性、顧客対応力を強化し、顧客にとってのベストソリューションを提供することにより、より付加価値の高いビジネスを展開し、新規顧客の獲得と既存顧客との取引拡大を軸に、受注高の確保とサービスビジネスの拡大を目指した営業活動を行ってまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,036百万円(前年同期比403百万円増、11.1%増)、営業利益107百万円(前年同期比10百万円減、8.8%減)、経常利益108百万円(前年同期比11百万円減、9.8%減)、四半期純利益73百万円(前年同期比17百万円減、19.1%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

## ① 情報システム関連事業

情報システム関連事業は、競合先との激しい競争状態によるIT商品の低価格化が進む中、第1四半期は顧客のIT機器に対する災害対策需要により、ハードウェアビジネスを中心に受注が増加いたしました。7月以降は災害対策需要の落ち着きとともにIT投資に対する慎重さが戻り、売上高は3,339百万円(前年同期比486百万円増、17.1%増)、セグメント利益(営業利益)は102百万円(前年同期比1百万円減、1.2%減)となりました。

## ② 人材派遣事業

人材派遣事業は、派遣契約の継続契約の取りやめが依然として続いている中、派遣スタッフの増加を目指す営業活動を行うとともに、経費削減努力を行ってまいりましたが、売上高は697百万円(前年同期比83百万円減、10.7%減)、セグメント利益(営業利益)は4百万円(前年同期比9百万円減、66.4%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ857百万円減少しております。これは、主に現金及び預金が111百万円減少、受取手形及び売掛金が748百万円減少したことによるものであります。負債については1,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ902百万円減少しております。これは、主に買掛金が864百万円減少、未払法人税等が82百万円減少、前受金が50百万円増加したことによるものであります。純資産については1,590百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加しております。これは、主に四半期純利益の計上が73百万円ありましたが、配当による減少31百万円があったことにより、利益剰余金が41百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ111百万円減少し、446百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は4百万円となりました。これは、主に仕入債務の支払いによる減少が890百万円、退職給付引当金の減少が28百万円及び法人税等の支払いによる減少が91百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が107百万円、売掛金の回収等による売上債権の減少が799百万円及びたな卸資産の減少が109百万円あったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は80百万円となりました。これは、主に有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が29百万円及び敷金の差入れによる支出が52百万円あったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は34百万円となりました。これは、主に配当金の支払による支出が31百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日付で第2四半期累計期間の業績予想の修正を発表いたしました。通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	557,594	446,150
受取手形及び売掛金	2,474,166	1,726,029
商品	154,033	40,288
仕掛品	8,631	13,095
貯蔵品	316	425
その他	287,384	297,115
貸倒引当金	△549	△298
流動資産合計	3,481,577	2,522,805
固定資産		
有形固定資産	58,819	92,073
無形固定資産		
ソフトウェア	73,047	88,725
その他	160	13,648
無形固定資産合計	73,207	102,374
投資その他の資産		
投資有価証券	38,715	44,023
その他	293,627	326,891
貸倒引当金	△56,140	△56,116
投資その他の資産合計	276,203	314,798
固定資産合計	408,229	509,246
資産合計	3,889,807	3,032,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,350,240	486,174
未払費用	180,409	164,160
未払法人税等	95,788	13,565
前受金	273,763	324,682
賞与引当金	92,100	89,637
その他	62,424	68,328
流動負債合計	2,054,726	1,146,548
固定負債		
退職給付引当金	270,966	242,689
役員退職慰労引当金	17,840	—
その他	—	51,850
固定負債合計	288,806	294,539
負債合計	2,343,533	1,441,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	232,665	274,206
株主資本合計	1,547,645	1,589,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,371	1,776
その他の包括利益累計額合計	△1,371	1,776
純資産合計	1,546,273	1,590,963
負債純資産合計	3,889,807	3,032,051

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,633,792	4,036,876
売上原価	3,072,507	3,466,163
売上総利益	561,285	570,712
販売費及び一般管理費	443,788	463,509
営業利益	117,496	107,203
営業外収益		
受取利息	169	192
受取配当金	1,128	221
保険配当金	808	926
貸倒引当金戻入額	—	254
その他	336	108
営業外収益合計	2,442	1,703
営業外費用		
支払利息	87	849
営業外費用合計	87	849
経常利益	119,851	108,056
特別利益		
貸倒引当金戻入額	600	—
投資有価証券売却益	26,112	—
特別利益合計	26,712	—
特別損失		
固定資産除却損	564	728
特別損失合計	564	728
税金等調整前四半期純利益	146,000	107,328
法人税、住民税及び事業税	61,313	10,099
法人税等調整額	△5,632	24,187
法人税等合計	55,681	34,286
少数株主損益調整前四半期純利益	90,318	73,041
四半期純利益	90,318	73,041



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,318	73,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	754	3,147
その他の包括利益合計	754	3,147
四半期包括利益	91,073	76,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,073	76,189
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	146,000	107,328
減価償却費	17,810	27,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△478	△274
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,728	△2,463
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,618	△28,277
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△17,840
有形固定資産除却損	564	728
投資有価証券売却損益(△は益)	△26,112	—
受取利息及び受取配当金	△1,297	△413
支払利息	87	849
売上債権の増減額(△は増加)	184,124	799,081
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,211	109,171
仕入債務の増減額(△は減少)	△125,854	△890,864
その他	61,337	△8,113
小計	219,319	96,162
利息及び配当金の受取額	1,297	413
利息の支払額	△87	△849
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,187	△91,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,717	4,276
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,749	△29,139
無形固定資産の取得による支出	△2,376	△559
投資有価証券の売却による収入	63,600	—
敷金の回収による収入	15	397
敷金の差入による支出	—	△52,644
その他	△5,175	970
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,312	△80,976
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△31,536	△31,173
割賦債務の返済による支出	—	△2,020
リース債務の返済による支出	—	△1,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,536	△34,744
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226,493	△111,444
現金及び現金同等物の期首残高	654,634	557,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	881,127	446,150

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,852,690	781,102	3,633,792	—	3,633,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,208	10,756	12,965	△12,965	—
計	2,854,899	791,858	3,646,757	△12,965	3,633,792
セグメント利益	103,810	13,686	117,496	—	117,496

(注) セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差異はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,339,672	697,203	4,036,876	—	4,036,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,610	19,300	21,910	△21,910	—
計	3,342,283	716,503	4,058,786	△21,910	4,036,876
セグメント利益	102,601	4,602	107,203	—	107,203

(注) セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差異はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。